



●

工作舎のデザインは、杉浦康平氏との出会いによって誕生しました。以来40年間、デザインとは編集であり、編集とはデザインにはかならないことが、工作舎の出版活動の基本にあり続けています。

もとより、どこまでが編集で、

どこからがデザインであるとは、なかなか決めがたいもの。

決めがたいからこそ、そこには冒険や実験の沃野が

広がっているともいえます。本はもちろん、

一枚のパンフレットやチケットも、

その成り立ちは一様ではありません。

ときには料理をつくるように、

またときには映画を撮るように、あるいは仏像を刻むように、

将棋を指すように、井戸を掘るように

……と、千変万化するものです。

●

今回の「工作舎E+D展」では、

オブジェ・マガジン『遊』に代表される

初期のエディトリアル・デザインを中心に、

書籍やポスターなどの「出版」をめぐる各種制作物をはじめ、

工作舎の「もうひとつの仕事」でもある企業や公共団体との

コラボレーションから生まれたデザイン・ワークまで、

その千変万化の一端をご紹介します。

編集者やデザイナー、カメラマンやイラストレータ、

そして印刷所や製本所の人びとによって産み出された

エディトリアル・デザインの世界を、

そのプロセスや方法とともに楽しみ下さい。



工作舎 kousakusha editorial corporation for human becoming

- 1971年4月——雑誌『遊』(1971-1982)の編集制作チームとして発足
- 1971年5月——『遊』のエディトリアル・デザインに杉浦康平氏参加
- 1971年9月——『遊』創刊号刊行
- 1971年12月——株式会社工作舎設立
- 1973年6月——写真誌『off』(1973-1974)創刊
- 1974年7月——初の単行本、高内壮介『湯川秀樹論』発行
- 1976年2月——株式会社フォーラムインターナショナルの参加により、翻訳通訳部門を拡充
- 1978年5月——『遊』第II期スタートにより、隔月刊化
- 1979年4月——編集塾『遊塾』開塾、全国より60余名が参加
- 1980年11月——『遊』第III期スタートにより、月刊化
- 1982年10月——出版の中心を雑誌から単行本にシフト
- 1988年11月——「ライブニッツ著作集」(全10巻、1988-1999)刊行開始
- 1991年7月——創立20周年企画『ブックマップ』刊行
- 1997年——この年より現在まで、日本産業広告総合展で堀場製作所のPR誌『ABIROH』および「カレンダー」が各賞を連続受賞
- 2001年7月——創立30周年企画『脳図鑑21』刊行
- 1999年9月——「ライブニッツ著作集」で日本翻訳出版文化賞受賞
- 2001年11月——創立30周年企画『オデッセイ1971-2001』刊行
- 2005年1月——梓会出版文化賞特別賞受賞
- 2009年10月——ヨハネス・ケプラー「宇宙の調和」で日本翻訳出版文化賞受賞
- 2010年6月——堀場製作所「カレンダー」で日本BtoB広告賞経済産業大臣賞受賞

【近年の主な出版物】

『巡礼としての絵画』●前川久美子

『Designscape(デザインスケープ)』●内田 繁

『TRA(トラ)』●タイガー立石

『生物への周期律』●アントニオ・リマ・デ・ファリア

『シルダーノ・プレーとヘルメス教の伝統』●フランセス・イエイツ

『古書の森 逍遙』●黒岩比佐子

『多言語的なアジア』(杉浦康平デザインの言葉シリーズ●)●杉浦康平

『メデア・アート創世紀』●坂根 敏夫

【記念講演会のご案内】

- 出演——松田行正 [エディトリアル・デザイナー] + 米澤 敬 [工作舎編集長]
- 日時——2010年10月22日[金] 18:30—19:30
- 場所——オリエンタルホテル広島3階「チャペル」
定員80名(参加無料・要申込・先着順締切)
- お申込——電話にてお申込ください。
オリエンタルデザインギャラリー
082-240-9463(直)
受付時間 11:00—20:00



【オリエンタルホテル広島】
オリエンタルデザインギャラリー
730-0026 広島県広島市中区田中町6-10
オリエンタルホテル広島内1F
TEL 082-240-9463(直)
<http://www.oriental-hiroshima.com/>

【ACCESS】
✦JR広島駅より車で約5分
✦広島新空港より車で約60分
✦宇品港より車で約15分
✦五日市I.C.より車で約30分
✦山陽自動車道広島I.C.より車で約20分